

## 令和5年度 第3回古賀市図書館協議会会議録

会議名称：令和5年度第3回古賀市図書館協議会

日時：令和6年2月20日（火）14時00分～15時30分

場所：リーパスプラザこが中会議室

主な議題：①令和5年度図書館利用状況報告（4月～1月）

②令和5年度図書館事業実施報告（11月～1月）

③令和6年度事業方針（案）

④その他

a) 「リーパスプラザこがリニューアル基本計画（案）」

b) 「糟屋地区公共図書館担当者会」における取組

傍聴者：0名

出席者：鈴木 章会長、久池井 良人副会長、池田 頼子委員、河村 正彦委員、  
高橋 雅仁委員、服部 哲治委員、村山 美和子委員 以上7名

欠席者：1名（園 久恵委員）

事務局：5名

配布資料：①レジュメ

②資料1 令和5年度図書館利用状況報告（4月～1月）について

③資料2 令和5年度図書館事業実施報告（11月～1月）について

④資料3 令和6年度事業方針（案）について

⑤資料4 「リーパスプラザこがリニューアル基本計画（案）」について

### 1 開会のことば

（事務局） 皆様こんにちは。事前に園委員さんから所用による欠席連絡があつています。全員ご参集いただきましたので、はじめさせていただきます。

本日はご多用の中ご参集いただきありがとうございます。私、文化課参事補佐兼図書館係長が進行をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

事前に送付いたしました協議資料は、お持ちいただいておりますでしょうか。レジュメほか計15ページ。内容としましては、大きく四点、1～4ページの令和5年度4～1月の図書館利用状況報告、5～8ページの11～1月の図書館事業実施報告、9ページの令和6年度事業方針(案)、最後にその他として、10～15ページの「リーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)」、そして資料はございませんが、「糟屋地区公共図書館担当者会」における取組についての報告となります。

不足等ございましたらお知らせください。よろしいでしょうか。

本会議につきましては、会議の公開制度に基づき傍聴席を設けております。また、会議の内容につきましては、会議録を作成し、古賀市のホームページに公開させていただきますのであらかじめご了承ください。

次に、ご発言される際はレコーダーを使用する関係で、マイクの使用をお願いします。

それでは、レジュメに沿って令和5年度第3回古賀市図書館協議会を開催いたします。

開会のことばを文化課長が申し上げます。

（課 長） 皆様あらためましてこんにちは。公私ともお忙しい中、ご参集ありがとうございます。

園委員さんから欠席のご連絡をいただいておりますけれども、本日の会議につきましては、半数以上のご出席をいただいておりますことから、古賀市生涯学習センター条例施行規則第40条第3項の規定によりまして会議は成立いたしておりますので、ご報告させていただきます。

それから、本日は生涯学習推進課が取りまとめた「リーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)」の概要報告をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは今から令和5年度第3回古賀市図書館協議会を開会させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 2 部長あいさつ

(事務局) 続きまして、教育部長があいさつを申し上げます。

(部長) こんにちは。最近は少し暖かくなってきておりますけど、残念ながら今週は雨ばかりという予報が出ております。先日古賀グリーンパークに行きましたら、桜が咲いていたのでびっくりしました。来月半ばの卒業式より前に満開になってしまうのではないかという位の勢いにびっくりしております。

本日の会議では、「リーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)」の概要報告をさせていただきます。この計画は、JR古賀駅東口開発と並行しながら、中央公民館大ホールを市民ホール化できないかというところが中心となります。また、この敷地内に道路が通る計画も公表されておりますので、今後、駅前開発と連携し、エリア一帯でリーパスプラザこがの利用向上につながるような施設づくりを検討していきたいと考えております。

10年後にはですね、この辺がガラッと変わってるのかなあと期待しておりますけど、皆さんも楽しみにしていただければと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

## 3 会長あいさつ

(事務局) それでは恐縮ですが、鈴木会長より、ごあいさつをお願いいたします。

(会長) あらためまして皆さんこんにちは。先程の部長あいさつとも関連するのですが、先日、山口県周南市に出かけました。徳山駅に降り立つと駅構内に市立図書館があって、2階建てで喫茶の入った書店も併設されておりました。その書店には雑貨も売っており、月曜日でしたが観光客も含め利用者でにぎわっていました。これは武雄市とは違った図書館づくりで、利便性も含めて非常によく考えたことだなと感じました。

これからの時代に向け、公共施設のあり方も多様多目的に、いろいろ活用できるものへと変わりつつあります。図書館もそのうちの一つに位置づけられる時代が来ているのだなあと思いつつ旅から帰ってきました。今日はこれに関連するお話も一部あるかと思っておりますが、今年度最後の協議になりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 4 協議等

### 1) 令和5年度図書館利用状況報告(4~1月)について

(事務局) それでは、レジュメの4. 協議等に移らせていただきます。

今回の会議では、4月からの利用状況と前回11月の会議後の図書館事業についての実施報告、そして令和6年度の事業方針(案)についての協議が主なものとなります。

また、その他として二点、市立図書館を含む四つの施設からなる複合文化施設リーパスプラザこがの更なるサービス向上を図るため、今後の整備の方向性を取りまとめた「リーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)」の概要と、令和5年度は古賀市が当番館であった「糟屋地区公共図書館担当者会」について取組内容の報告をさせていただきます。

(会 長) これから先の進行は、鈴木会長からお進めいただきたく、よろしく願いいたします。  
はい。それではよろしく願いいたします。協議等ということで、資料 1~4 ページをもとに、令和 5 年度図書館利用状況報告について事務局の方からお願いします。

(事務局) それでは、1) 令和 5 年度図書館利用状況報告 (4~1 月) についてです。  
資料は 1~4 ページとなり、ここでは、図書館利用統計と電子図書館利用統計について報告させていただきます。

初めに図書館利用統計についてです。3 ページのグラフをご覧ください。

令和 5 年度 1 月迄の利用状況としては、4 年度とほぼ同程度で、新型コロナ流行前の平成 30 年度との比較では 8 割程度で推移している状況です。この中でも入館者数については、7 月までは 4 年度と同程度で推移していましたが、これ以降は約 1 割増しで上回る状況が続いています。しかしながら、貸出総数は 4 年度をわずかに下回る状況です。

前回の会議でもお話ししましたが、7 月以降、新たな企画を含め多様なイベントを開催したこともあって、その流れが入館者数の引き上げにつながっていると考えております。しかし残念ながら貸出数を引き上げるまでには至っておらず、この点が課題であります。

次に、1 ページから細部を見ていくと、貸出冊数はこれまでずっと 4 年度値を下回る状況が続いていましたが、12 月からは上矢印のとおり盛り返しが見られます。また、貸出人数についても同様に盛り返しており、10~1 月の合計では上矢印のとおり、貸出冊数、貸出人数共に 4 年度値を上回っている状況です。入館者数は先に説明のとおり、7 月以降は約 1 割増しが続き、10~1 月の合計も 4 年度値を上回っている状況です。

次の 2 ページの新規登録者数については、4 年度との比較において月によって増減の波が見られますが、新型コロナが落ち着きをみせた 3 年度以降は増加傾向にあります。

更にその下には、参考として 2 つのデータ、利用者総数(貸出人数)と新規登録者数の年代別データの年度比較を記載しております。

ここから読み取れる傾向と課題、そして検討中の対応策についてご説明します。

まず、利用者総数(貸出人数)の年代別比較を見ると、矢印のとおり、40 歳代と 50 歳代、そして 70 歳以上が増加傾向にあります。特に 70 歳以上は大幅に伸びており、新型コロナ流行前の平成 30 年度と同程度となっています。次に、その下、新規登録者数の年代別比較を見ると、矢印のとおり、0~6 歳、40 歳代、70 歳以上が増加傾向にあります。

このデータから二つの課題が見えてきます。一つ目は、0~6 歳において新規登録数の伸びが貸出数に比例して伸びていないことです。

新規登録数が伸びた背景には、「ブックスタート事業(子育て支援課が窓口となり、乳児とその保護者を対象に絵本を開く楽しい体験とともに絵本を 1 冊プレゼントする、20 年前から始めた事業)」において、図書館係として、令和 4 年度から読み聞かせの効果説明やおすすめ本の紹介を含む図書館 PR に力を入れおり、会場で利用登録カードの即時発行を行う取組を進めている関係もあって登録者数が増えています。しかしながら、貸出数を見ると、登録後の図書館利用につながっていないことがうかがえます。

この対応策の一つとして、現在検討しているのが「赤ちゃん絵本パック」の取組です。

これは、司書が選んだ赤ちゃんウケ間違いなしのおすすめの本を数冊まとめて貸し出すもので、あらかじめパック詰めしておくので、忙しくて絵本を選ぶ時間がない方、また何を読み聞かせてあげたらよいか迷われている方でも、短時間で借りて帰ることができます。このように図書館をもっと気軽に利用していただけるような取組を進め PR を重ねることによって、来館のきっかけをつくり、継続的な利用につながっていく流れを作りたいと考えています。

そして二つ目の課題は、70 歳以上の方の貸出数や新規登録数の伸びの勢いと、今後の伸び代です。

団塊の世代が後期高齢者入りとなる今後、図書館の利活用を促すことが重要です。人生100年時代を豊かなものにするには、健康でいきいきと、自分らしく生きるヒントを学ぶ場として、図書館をよりよく活用していただけるような取組を進めて行く必要があります。

この対応策として考えたのが読書通帳の導入です。読書通帳とは、銀行の預金通帳と似た冊子で、図書館で借りた本の記録を印字して残せる市立図書館専用の通帳となります。

70歳以上を含むシニア層のみならず、先程のお話した0～6歳とその保護者は、デジタル化が進む中においても手元にあるものを大切に、どれだけ読書通帳を使っているかをステータスとしてとらえる傾向にあると考えられ、読書の履歴が貯金のようにたまっていくことが、読書意欲を高める効果につながるのではないかと考えて導入を検討しました。

この他、図書購入費の増額を行うことで、70歳以上を含むシニア層には、健康・医療、趣味・生きがいづくり、介護・終活といったジャンルを、また、0～6歳とその保護者には、絵本や児童書のほか、育児、料理・家事、趣味・スポーツ・レジャーといったジャンルを重点収集して、更なる図書館利用につなげたいと考えました。

しかしながら、6年度予算編成では、財政難を理由にこれらの要求は認められず予算化には至りませんでした。次年度以降予算化できるようブラッシュアップして、再チャレンジしたいと考えています。

次に、電子図書館利用統計についてです。4ページをご覧ください。

①の令和5年度4月～1月までのログイン数及び貸出数は、共に4年度とほぼ同程度で推移しています。

②では、年代別貸出数を、4月～11月までと、新刊書を入れた12月～1月で比較してみると、12月～1月の間は30歳代以上の利用が伸びていることがわかります。

今回の新刊書は、話題になったテレビドラマの原作本やライトノベル、旅行ガイドブック等を中心に購入し、広報2月号でこの内容紹介も含めて電子図書館サービスの記事を掲載したこともあって利用が伸びたものと考えられます。

利用傾向としては、新刊書を入れた際には利用が伸びるものの、全体としては、電子より紙の本を求める傾向が相変わらず強い状況ですが、選書の工夫や効果的なPRを行い、より多くの方に利用していただけるよう努めていきたいと考えています。

以上が、4～1月の図書館利用状況の報告となります。

(会 長)

はい、ありがとうございました。1～4ページについての報告でした。2～3月の統計はこれからですので、どこまで上積みできるか期待しています。これまでの利用状況の説明、そして読書活動の推進に向けた絵本パックや読書通帳等のいろいろなアイデアを紹介されました。これらを含めて何か質問や意見等がございましたらどうぞ。

(委 員)

実態を非常に詳しく分析され、そしてきちんと手立てが打たれていることを含めて、良い取組をされていると感じました。効果は出ていると思います。貸出冊数、貸出人数、入館者数、新規登録者数の報告が今期もあり、貸出冊数の伸びがそこまでないというお話でしたけども、私は入館者数が確実に伸びているということは、非常に大事なことだと思っています。

図書館はどうしても貸出冊数をバロメーターにしますが、私は貸出冊数ではないと考えます。幅広い市民の方が図書館を訪れることが重要で、本を借りなくても私はよいと考えていて、図書館に行っているいろいろな面で役に立ったとか、楽しかったということを楽しむことが一番大事だと思います。ですから、これらの表の順番も、入館者数を一番に書いていただきたいと思います。その次が貸出人数、そして貸出冊数で、冊数はその結果であって目標ではないんじゃないかというふうに考えます。

それと、今後の取組として紹介された、乳幼児とその保護者を対象とした「絵本パック」は良い試みだと思います。しかし読書通帳は、子ども向けとして取り組まれているのを他館

で見かけますが、シニア層向けにというところで、大人の方は図書館でどんな本を読んだかということは余り把握されたくないと思われる方がいらっしゃるんじゃないかと思います。公共図書館では、貸出内容等の利用状況を保存しませんということを言われますよね。だから、自分が分かっておけばいいことなのに、図書館側からあなたはこんな本を読みましたねというふうに情報が提供されることは、好む方と好まれない方がいるじゃないかなと思いますので、そこはちょっと配慮の余地があるというふうに思っております。

最後になりますが、全体として、コロナ以前と比べて8割程度の利用ということで、全般的な回復ではないとは言われますが、私は非常にいい傾向と捉えていますし、これも様々な取組が行われた結果だと思います。入館者数の推移、これを大事にさせていただいて、図書館の取組をもっとアピールして利用につなげていただきたいと思います。

(会 長)           ありがとうございます。とても大事なご指摘であったと思います。

(委 員)           私も、今おっしゃった意見とたいへん似たような事を感じました。入館者数が増え、そしてお年寄りの利用が多い状況についてですが、お年寄りの方は、本選びに際して自分がどのくらい貸出期間内に読めるか、この本が自分にピッタリかどうかなど、非常に吟味してお借りになるんですよ。それと字の大きさや挿絵等の芸術性も気にして選ばれているようです。

ですから、お年寄りの利用が増えても貸出冊数が伸びないというのは、その辺りもあるのではないかと思います。コロナも落ち着いて本を手にしよと思う方が増えてきているということは非常に良いことだなと、このグラフを見て思いました。

(会 長)           他にございますか。

(委 員)           読書通帳の話題が出されて非常に興味深く聞いていたのですが、良い面とちょっと慎重にならないといけない、ある意味では危険な面もあるのではないかと考えました。それは新聞の社説に以前書かれていた内容で、事件の捜査段階において、ある人物が図書館でどういう本を読んでいるのかといった思想調査のようなものが行われたという記事です。読書というのは、思想やものの考え方と結びついているんですね。もちろんそういうことに慎重な方は読書通帳をつくらないという選択をされるかと思いますが、それは個人の問題として、基本的に、市立図書館が市民の読書と貸出利用に際して、思想調査的なものにかかわらなくてはならなくなった場合に、一体どうするのだろうということを考えました。

(会 長)           何かこのことについてコメントはございますか。ある意味とても大事な部分ですね。

(事務局)          捜査の内容にもよりますが、基本的には貸出履歴に関する情報をお答えすることはございません。仮に読書通帳を導入できたとして、申込みは任意となります。貸出履歴が記された通帳を失くされた場合、拾われた方に知られてしまうといったリスクは確かにございます。しかしその辺は、もう個人で管理していただくといった形になるのかなというふうに思っております。

(事務局)          市立図書館入り口には、「図書館の自由に関する宣言」を掲げており、図書館は利用者の秘密を守ることを約束しています。図書館では、返却管理のため、貸出期間中は借りられた資料の情報を持っていますが、お戻し後は借りられた点数のみが履歴として残り、詳しい資料の内容は残りませんので、その点をご安心いただきたいと思います。

(会 長)           よろしいですか。はいどうぞ。

(委 員)           それをうかがってもものすごく安心しました。今後ともよろしくお願いします。

(会 長)           他にはございませんか。

(委 員)           読書通帳の件ですが、私は良い取り組みだと思います。私は長く文庫活動をしておりま

して、貸出の際にはタイトルを全部書き出して、1冊が終わると2冊目3冊目といった具合に読書の記録を残しています。この前、ある本好きの方が体調を崩して文庫に来れなくなり、その後数回はこちらから本を届けに行きましたが、結果としてもうこれでやめますとおっしゃいました。そこで、これまでの記録ノートを全部束ねて、コスモス文庫の名誉会員としたいとお話ししましたら、その方がノートを振り返って、私頑張ったよねっておっしゃいました。どんな本をどれだけ読んだかっていう記憶は自然と消えていってしまうので、記録があるとやっぱり充実感というか、そういうものを抱くことができるのではないかと思います。個人情報を守るという点も含めて読書通帳を検討していけば良いと思います。

また、貸出冊数や入館者数については、本を借りるだけではなくて、雑誌や新聞を読まれたり、ふらっと訪れる方もいらっしゃいます。借りる借りないという事も大事ですが、図書館に行くだけでほっとするといったような居心地の良い居場所をめざすことを含めて、入館することの意味と、そこに目をつけることの重要性を感じました。

(会 長) 他によろしいですか。

(委 員) 入館者数を増やすということについてですが、私は大学の図書館運営に少し関わったことがございまして、学生からは夜遅くまで開けてほしいなど、開館時間の延長を望む声が時々あるんですね。勉強できるスペースとして利用したいということもあるのかもしれませんが、様々な年代のライフスタイルがございまして、もう少し夜遅くまで開館するとか、そういうことも検討すると、入館者数の増加につながると考えますし、何かもう既に検討されていることがございましたらお聞かせください。

(事務局) 開館時間の延長については、これまでもそういった話が出まして、いろいろ議論をして試験的に1時間延ばしたことがございます。残念ながらこの時間帯の来館は少なく、夕方に来られた方が一部残られた程度でございました。また、昨今の働き方改革というのもございまして、今のところ積極的に延長しようという話にはなっておりません。今後、費用対効果の面も含めて、引き続き利用状況を見ながら、リニューアル計画の具現化において全館的に検討していくことになろうかと思います。

(会 長) よろしいですかね。専門図書館、あるいは大学図書館との違いもあって一概に比較できないところもありますし、公共性という点も考えなければならぬので、難しい判断になってくると思います。一方で、スタッフの働き方のこともありますので、今のお答えじゃないかなあと確かに思いますね。

はい、他によろしいですか、この点については、では次に進みます。

ページでいきますと、5～8ページの令和5年度の図書館事業実施報告についてとなります。説明をお願いいたします。

## 2) 令和5年度図書館事業実施報告(11～1月)について

(会 長) 続いて図書館事業実施報告について、5～8ページ、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) それでは、2) 令和5年度図書館事業実施報告についてです。

ここでは、前回会議後の11月～1月にかけて実施したイベントや蔵書点検の内容等について、ポスターや写真を加えて事業概要等を記載しております。説明にあたっては、お伝えしたいポイントを中心に説明させていただきます。

5ページをご覧ください。まずは【報告①】「図書館で学ぶがんシリーズ がんになっても自分らしく生きる」についてです。

新型コロナの影響で開催から見送られていた、福岡東医療センターとの共催事業「図書館で学ぶがんシリーズ」ですが、肺がん、大腸がん、肝臓病に続く今回は、がんになった

後のことをテーマとしました。自分のため、家族や大切な人のために、がんまつわる情報、医療機関での診療体制や支援体制等を知ること、不安の軽減、その人らしい療養生活につながれるよう考えて企画したものです。がんは生活習慣病と言われる中で、今後も、予防や知識啓発、がん相談支援センターのPRを含めて、図書館利用者ががんに関する信頼できる情報を目にすることで、ヘルスリテラシーの向上が図られるよう取り組んでいきたいと考えています。

次は、【報告②】「名画会」中村哲医師の生き方を追ったドキュメンタリー作品の上映についてです。

12月4日が哲さんの命日であることから企画したもので、上映にあわせて、母校である古賀西小学校の子ども達が作成した絵本「中村哲物語」を紹介しました。

この絵本は、2年をかけて、6年生あわせて約170人の手で作り上げました。インターネットで哲さんに関する情報を集め、プランナー、イラストレーター、ライター等の役割を分担して作業を進め、初版ができると、哲さんと共に学んだ友人や、哲さんが現地代表を務めたペシャワール会に校正をお願いし、幼い頃のエピソード等をより正確にあらためました。読みやすいように文章を短くしたり、色彩を工夫したりして仕上げた絵本には、誕生から虫取りに夢中になった小学生時代、医師を志した高校生の頃、パキスタンやアフガニスタンでの活動を経て凶弾に倒れるまでを盛り込みました。

また、絵本の最後には編集後記もございます。皆様のお手元に絵本を用意しておりますのでどうぞご覧になってください。

次は、【報告③】「古賀竟成館高校図書委員会によるクリスマスおはなし会」についてです。

今回が2回目となるクリスマスおはなし会ですが、夏に玄界高校が開催する朗読劇とはちょっと異なるアットホームなおはなし会となりました。異年齢との交流を含め、おはなし会の楽しさや喜びを感じてもらうことはもとより、語り手である高校生に活躍の場を提供し、子どもの読書活動の広がりを支えることを考えて企画しました。

次は、6ページの【報告④】「新春企画 2024年図書館福みくじ」についてです。

より親しみやすく、にぎわいのある図書館づくりをめざし、また、明るい一年になりますようにという気持ちを込めて、ひとつひとつ手作りした新企画です。

たいへん好評で、図書館はにぎわい、列をなして本を借りていただきました。飛び入り参加した田辺市長をはじめ、今年の運勢は？と、真似事でも皆さん楽しそうにおみくじを引いている姿が印象的でした。今後も図書館のイメージアップや利用を促すユニークな企画を試みたいと考えています。

次は、【報告⑤】「電子図書館体験会の試行実施」についてです。

先程、利用状況の報告をしましたが、伸び悩みが見られる電子図書館サービスを、もっと多くの方に知ってもらい、楽しんでもらいたいと考えて、今後開催する体験会のニーズやメニュー構成を検討するため、試行的に実施しました。今回、蔵書点検に伴う臨時休館を前にしたタイミングで、カウンター横に特設コーナーを設ける形で実施しましたが、正直、来館者の反応はイマイチでした。今後、開催日時や場所、対象者、周知方法、コーナーの雰囲気づくりなど、潜在的利用者の心をつかむような工夫も含めて、練り上げていきたいと考えています。

次は、7ページの【報告⑥】「蔵書点検ほかの館内作業」についてです。

今年度は1月23日～30日までを年に一度の特別整理期間として休館し、蔵書点検や蔵書整理、模様替え等を実施しました。利用者から見れば、蔵書点検の期間、一体何をしているのだろうと思われる方が多いかも知れませんが、蔵書点検では、所蔵している資料が正しい場所に収まっているか、行方が分からなくなっている資料がないか、また破損や汚

損している資料はないか等の確認作業を行っています。このためには書棚の中で資料が移動しないよう、貸出も返却もストップしなければなりません。蔵書点検によって、市の資産である資料をしっかりと管理し、また資料が正しい場所に配架されることで利用者の利便性にもつながることから、利用者の皆様方にはこの休館作業へのご理解をいただきたく存じます。

なお、点検の結果、貸出手続きがなされず所在がわからないなど、不明となった資料が計 13 点あることが明らかとなりましたので、今後も引き続き調査すると共に適正な管理に努めます。

また、この期間を活用して、利用者の声や、先に実施した利用者アンケートの結果に基づきまして、「紙芝居や雑誌の展示方法の改善」「お知らせ掲示板を出入り口の柱に設置」「トイレ通路の内装改修ほか工事」、更には JR 古賀駅に設置している「図書返却ポストのリニューアル」等を実施しました。

休館作業をしていますと、足を運んでいただいた来館者が休館と判りガッカリされる姿を見かけたり、休館明けの 31 日朝 10 時には、開館を待つ方 20 名程が列をなしているところを見ますと、図書館で過ごすことを楽しみにしている方が大勢いらっしゃることをあらためて実感したところです。

そして、最後の【報告⑦】「布の絵本づくり講座」についてです。

この会議資料作成時は開催前であったため、予告とさせていただきますでしたが、先週の金曜日に全工程を終えました。今回は、オリジナルの知育絵本づくりということで、参加された受講者からは、とても内容の濃い講座を受けられたとたいへん満足していただきました。つくしんぼ代表の池田委員、ご準備から当日のご指導までたいへんお世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

今期も限られた職員体制ではありましたが、ご報告させていただいた事業や作業を意欲的に取り組みました。その過程において、何を優先しどの程度まで取り組むのかを話し合い、それぞれの目的に沿った考えや行動を係で共有した結果、質の高いものをお届けできたのではないかと考えております。

今後も、利用しやすく親しみやすい図書館をめざして、職員一同、取り組んでいきます。

以上が、11 月～1 月の図書館事業実施報告となります。

(会 長) はい、ありがとうございました。写真紹介と詳しい説明をいただき、蔵書点検も含めて、様々な事業を展開されていることがよくわかりました。

それではこのことについて、ご意見やご質問等ございましたらどうぞ。

(委 員) また、つくしんぼの皆さんによる布の絵本づくり講座もお疲れさまでございました。何かコメントや感想をお願いします。

布の絵本づくり講座ですが、15 名の募集に対し参加者は 14 名で、福岡市内からの参加もございました。参加者からは、自分の宝になりましたとたいへん喜んでいただきました。3 日間と限られた時間でしたので、説明書きを用意し、あらかじめこちらでパーツを切り抜いて、表紙の文字はボンドで仕上げるよう考えていたのですが、皆さんご熱心でほとんどの方が縫い付けていらっしゃいました。

今回はオリジナルの作品で好評でしたので、次回も、縫うのも楽しめ、また出来上がった後も楽しめるような作品を考えていきたいと思えます。

(会 長) ありがとうございます。布の絵本はバリアフリー絵本という面もあって、誰が読んでも楽しめますよね。また手作りの良さということもありますので、大いに広げていただければと思います。他にございませんか。

(委 員) 報告 4 の新春企画福みくじについてですが、雑誌付録を景品に活用されるなどすごい良いアイデアだなと思いました。私は外れてしまいましたが、皆さんからは好評で良い取組



だと思えます。

それと、図書館入口の新着図書の棚に「図書館サービスガイド」という図書館運営に関する本があって手に取りましたら、プライバシー管理や個人情報の問題、利用者のモラルやトラブル対策等の内容が書かれていて、全国の図書館がいろいろ苦勞をされてる実態がわかり、ざっと目を通した中では参考になるところがあったように思いました。

この他の内容で気になったのが、図書館ツアーと選書ツアーの取組紹介でした。図書館ツアーは、図書館職員の日常業務を疑似体験する見学イベントで、こういうものを私は知らなかったので、業務内容や理解を得るための良い取組だなあと思いました。もう一つの選書ツアーは、利用者と一緒に書店に出かけて行って、図書館で受け入れて欲しい資料を選ぶといったイベントです。これは公共図書館での開催は難しく学校や大学図書館向きらしいのですが、大規模書店との連携により、書籍情報や本選びのコツを聞くことができ、児童生徒や学生からは高い評価を得ているということが書いてありました。

この他にも、これは大きな予算を伴い実現させるのはちょっと難しいかもしれませんが、ICタグと読取機器、無線アンテナ等を上手に活用することによって、蔵書点検の効率化や無断持出の管理、更にはウォークスルー型の自動貸出システムに取り組んだ和歌山県有田川町の事例が紹介されていました。これは、借りたい本を持ってタグ読取ゲートを通過するだけで簡単に貸出手続きができるもので、職員の窓口業務の負担軽減にもつながるのではないかと思います。ちょっと参考程度ですがご報告まで。

(会 長) いろいろなアイデアがありますね。ご紹介いただきありがとうございます。他にございませんか。

(委 員) 図書館利用に対する図書館の工夫が、非常にわかりやすくまとめてあると思います。そういう目線で館内を見ていくと、非常に細かい部分まで行き届いてとても使いやすくなっています。ただ、ふらっと訪れた方には、図書館が努力していること全てが伝わっていないのではないのでしょうか。昨年もお話したと思いますが、こういう資料としてまとまるとわかるのですが、一般的にはあまりわかりませんね。

古賀市の広報も以前より図書館の記事が半分になっていて、余り紹介できないんですね。だからといって、ページ数を増やすことはできない。だったら図書館に来られた方には、こういうふうな工夫を図書館として取り組みましたということアピールする必要がありますし、隣の建物を含むリーパスプラザ全体での情報発信も必要と考えます。

リニューアル基本計画の説明のところでお話があるかもしれませんが、ここは複合施設でいろいろなサービスを受けられる良さはあるのですが、入口が分かれていることもあり、図書館に用がない方は寄られないので、動きがわからないと思います。ぜひアピールをお願いしたいと思います。

また、同時期にサンコスモ古賀で開催された医療講座は、コレステロールのお話など健康管理をテーマとしたもので、市長も含め多くの参加者がありました。皆さんが関心を持ち、医療に対する教養を深めるというのであれば、そちらのようなテーマの方が図書館向けではなかったかと思ったぐらいでした。取組としては評価できる内容なので、今後のテーマ決めにあたっては、結果として参加者が少なかったとならないような工夫が必要だと思います。

(会 長) ありがとうございます。他に何かございませんか。

それでは次に参りたいと思いますがよろしいでしょうか。

### 3) 令和6年度事業方針(案)について

(会 長) 続いて、令和 6 年度事業方針(案)について、9 ページ、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) それでは、3) 令和 6 年度の事業方針(案)についてです。9 ページをご覧ください。  
内容としましては、前年度に引き続き四つの方向性「本と気持ちよく出会える場づくり」「読書の楽しさやよろこびを伝えるきっかけづくり」「新しい読書スタイルである電子図書館サービスの推進」「読書をとおして、人や地域・学校等をつなぐ」のもとに、それぞれの事業を位置づけて推し進めていきたいと考えております。

この内、新たな取組が二点ございます。一点目は、左上「本と気持ちよく出会える場づくり」の中の「①館内の雰囲気づくり」として、この後説明させていただく「リーパスプラザこがリニューアル基本計画」に基づきまして、図書館の魅力向上に向けた整備のあり方を検討していきたいと考えております。

二点目は、右上「読書の楽しさやよろこびを伝えるきっかけづくり」の中の「②イベントや講座等の開催」として、開館 30 周年記念企画を予定しています。市立図書館・歴史資料館が複合文化施設「サンフレアこが」として、平成 6 年に産声をあげてから 30 年の節目を迎えることから、図書館のあゆみ写真展やメッセージ・絵画募集といったような、これまでの歩みを振り返るものや、これからの図書館を考える内容の記念イベントを開催したいと考えております。詳細については、これから詰めていきます。

以上が、令和 6 年度事業方針(案)となります。

(会 長) ありがとうございます。生涯学習を支援する情報センターとしての取組を進めていく。その中において、館内の雰囲気づくりやイベントや講座等の開催については、少し強調して紹介がありました。

このページのことについて、何かございましたらお願いします。よろしいですかね。

はい。そうしましたら、この方針に基づく来年度の実際の取組を注視していきましょう。

#### 4) その他

①「リーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)」について

②「糟屋地区公共図書館担当者会」における取組について

(会 長) それではその他として二つの報告。一つ目は、先程よりちょっとずつお話がありました「リーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)」についてで、資料は 10~15 ページ。そして二つ目は、「糟屋地区公共図書館担当者会」における取組についてですが、資料はなくて口頭にて報告となります。事務局よりお願いいたします。

(事務局) それでは、その他事項として、まず、①「リーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)」について報告させていただきます。10 ページをご覧ください。

この「リニューアル基本計画(案)」は、老朽化と施設機能の低下が進む中央公民館や図書館・歴史資料館を含む施設全体を、JR 古賀駅周辺の再開発計画に呼応する形で文化芸術活動の拠点としての魅力を磨き、市内外から継続的に来訪していただけるような施設となるよう、今後の整備の方向性を取りまとめたものとなります。

策定にあたっては、リーパスプラザこが全体を統括する生涯学習推進課が、民間事業者からの多様な意見やアイデアも組み入れる形でまとめており、現在パブリックコメントを実施しているところであります。

今回は、細部の説明は割愛させていただきまして、図書館に関する記載のみを報告します。まず 11 ページには、図書館の事業内容を含む現状を。そして 12・13 ページには、リニューアルの基本理念を「人々が集い、文化・芸術をきっかけに、新たなにぎわいが生まれ、長く愛されるみんなの居場所づくり」と掲げ、めざす将来像とリニューアルの基本方

針を定めています。14 ページには、図書館をより魅力的な知の拠点として機能強化させるための四つの観点をまとめております。一点目は配架レイアウトの見直しとして、利用者の利用動線や実態に合わせた改善を。二点目は Wi-Fi・電源の設備拡充を。三点目は館内サインの見直しとして、視認性が高く統一感のあるデザインの採用を。最後の四点目は多様なアクティビティに対応した閲覧スペースのリニューアルとして、懸案事項でもある、長時間の滞在利用や会話・交流等にも対応できるような動と静、憩いのエリア分け。更には蔵書数の増加によって飽和状態にある配架スペースや閲覧スペースの拡張を検討していきたいと考えております。最後の 15 ページには、運営リニューアル計画についてまとめており、リーパズプラザこがを構成するそれぞれの施設の社会的な役割を損なわないよう配慮した上で、安定的なサービスが提供できる持続可能性ある運営手法を今後検討していくとしております。

以上が、①「リーパズプラザこがリニューアル基本計画(案)」の報告となります。

(事務局) ここで私から若干の補足でございますけども、リニューアル基本計画につきまして、今、図書館に関する部分を抜粋して概要を説明いたしました。先程の 9 ページの令和 6 年度事業計画案のところでもふれましたが、今後、図書館係として、この計画の実現に向けた具体的な検討を進めていきたいと考えております。図書館協議会委員の皆様には、その際ぜひご意見等をいただきたいと考えておりますし、この検討を含めて今後もお力添えをいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

(会長) ありがとうございます。この件については、今後協議を深めていくということになりますので、ご一読いただいて、何か確かめたいことや質問しておきたいこと等がございましたらお願いします。何かありましたらどうぞ。

(委員) 質問ではないのですが、図書館を変えていくということで、私は他の図書館に視察に行ったりしたことはないのですが、図書館に関するテレビ番組があれば努めて見るようにしています。今どきの図書館は、機能面はもとより芸術性も高められています。例えば、館内にイベントスペースがあってその場で気軽に参加できるイベントが開催されていたり、美術作品が展示されていて心地の良い空間になっていたり、誰もが気軽に立ち寄りたくなり、自分のスタイルで図書館を楽しむことができるような空間づくりの工夫がなされています。古賀市もこのようになってほしいなと期待しています。また、手狭と感じたバックヤードや閉架書庫も見直しされて広くなれば、より良い働き場所になると思います。

(会長) ありがとうございます。このご意見は、14 ページで説明された、四つの観点の内、配架レイアウトの見直し、それから多様なアクティビティに対応したリニューアルに関するご指摘だと思います。あらゆる市民にとって身近で利用しやすく、働きやすい空間づくりについて、これから具体的に詰めていかれると思いますので、協議会でも検討していきたいと思います。また、加えてどうぞ、何かありましたら。

(委員) 図書館のリニューアルについて非常に興味があります。四つの観点の内、上の三つは今の図書館でも対応できそうな内容なのですが、最後の四点目は内容が異なります。リニューアルイメージとして他の図書館の写真が記載されていますが、これを本当に実現しようと考えたら今の図書館のスペースでは足りず、建物全体の中身を考え直さなければなりません。現状の図書館の枠組み内でのリニューアルか、他のスペースまで取り込んだ形でのリニューアルなのか、この辺のお考えをもう少しお聞きしたいなというふうに思います。

また、先進的な図書館では、建物全体が図書館の機能を持っていて、本を読むスペースもあれば、本に関する催事を行うことができるオープンなスペースもあったりと、図書館

の機能自体を分散化して広げてあります。この点についてどこまで実現させようと考えてあるのか気になりましてちょっとお尋ねします。

(会 長) お答えできる範囲で構いません、事務局からお願いします。

(事務局) 基本的には、ゼロベースから組立てていくのが一番だと思うのですが、既に建物は建っているリニューアルになりますので、写真はあくまでもイメージということで捉えていただいて、今後実現できる部分を探りながら、具体的な内容を検討していきたいと考えております。必ずしもこのような形になるというわけではございませんので、その辺はお含みおきください。

(会 長) はい、次の 15 ページには PFI 方式の記載があり、民間資金を活用した整備や運営にふれてあります。その辺りを含めて結構な事業規模になると思われしますので、今後議論を重ねていただき、その都度協議の場が持たれると思われしますのでよろしくお願ひいたします。

それでは最後、その他の二番目、糟屋地区公共図書館担当者会における取組について、口頭による報告のようでもよろしくお願ひいたします。

(事務局) 引き続き、②「糟屋地区公共図書館担当者会」における取組についての報告です。

これまでの報告とは内容が異なるのですが、粕屋地区 1 市 7 町の公共図書館で構成する担当者会という組織がございまして、ここでは公共図書館同士の情報交換や、研修をととした資質の向上など、図書館運営の充実を図る活動を行っております。

令和 5 年度は古賀市が事務局を担当することとなり、この第 3 回会議では、アメリカのインテリア雑誌が企画する「ゆっくりと過ごしたい世界の 12 の図書館・書店」に選ばれた、熊本県菊池市立図書館の館長をお招きして研修会を開催しました。

洗練されたデザインが施された、図書館を含む生涯学習センター（愛称:キクロス）が「本と人、人と人、人とまちがつながる情報センター」として機能し、そしてまちのアイコン施設となって盛り上がりを見せているという素晴らしい取組事例を通して、これからの図書館運営を考えるヒントをつかみたいと考え企画しました。

講話の中で、図書館は収入を生まないから行政における優先度が低くなる。だからこそ市民の評価が大切である。図書館が人々の暮らしに必要な様々なサービスを提供していくことで、なぜ図書館が必要なのかを考えさせる。また、図書館が行政サービスのモデルとなるよう努めていくことが大事である。といったお話がございました。

研修会の企画段階では、古賀のスタッフ全員で視察に出向き、先進的な取組を見極めるとともに意見交換をさせていただきました。こうした取組も含めまして、今後も研鑽を積み、業務に精励してまいります。

以上、二点のその他事項の報告でした。

(会 長) ありがとうございます。最後の件で何かありましたらどうぞ。よろしいですかね。

それでは予定していましたその他事項も含めて、協議を終了したいと思います。

次回の会議のこともございますので、事務局のほうにお渡しします。どうぞ。

(事務局) それでは最後に事務局から、会議録の内容確認についてのお願ひとなります。

会議録につきましては、この公開に先駆け、毎回お二人の方に順番で内容確認、校正をお願いしております。はなはだ勝手ではございますが、今回は河村委員と高橋委員にお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

(会 長) 河村委員と高橋委員、いかかでしょうか。

(委 員) 了解しました。

(事務局) ありがとうございます。会議録ができましたらお手元にお届けいたしますので、ご覧い

ただき、必要に応じて訂正等していただき、ご署名後お返しいただくこととなります。

ご多用中とは存じますが、ご協力の程よろしく申し上げます。

次に、次回協議会の日程についてです。できましたら7月上旬、2日(火)か9日(火)あたりで開催できればと考えております。内容としましては、令和5年度事業実績の概況報告、更に令和6年度の事業計画と、4~5月の利用状況の報告等についての協議となります。恐縮ですが皆様方のご都合はいかがでしょうか。

(会 長) 委員の皆さん、ご都合の方いかがでしょうか。

(委 員) まだ先ですので、スケジュールは空いています。どちらでも大丈夫です。

(事務局) 年度も変わり、まだ先の日程となりますので、2日(火)か9日(火)どちらかでの開催とだけ決めさせていただき、あらためて日程調整をさせていただきます。時間は今回同様、午後2時からとし、会場は市役所を予定していますが、会議室の空き状況で変更となる場合もあります。

万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

事務局からは、以上となります。

## 5 閉会のことば

(事務局) それでは、閉会のことばを、図書館長が申し上げます。

(館 長) 本日はたいへん貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。特に、入館者数を増やすために、本日いただきましたご意見を参考に取組んでいきたいと思っております。また、リーパズプラザこがのリニューアルが予定されており、その中で今後の図書館のあり方を考えていく上で非常に重要な時期となります。図書館協議会の委員の皆様にはこれからも引き続きよろしくお願ひしたいと思っております。

また本日は、令和5年度最後の協議会ということになりました。今年度1年間、どうもお疲れさまでございました。ありがとうございました。

それではこれもちまして第3回古賀市図書館協議会を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。